

子ども読書支援センターニュース 第27号

山梨県立子ども読書支援センター 2018.6.30

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



「こどもの読書週間記念イベント2018」を開催しました。

山梨県立図書館では、4月21日(土)から5月11日(金)まで「こどもの読書週間記念イベント2018」を開催しました。このイベントは「子ども読書の日」(4月23日)と「こどもの読書週間」(4月23日から5月12日)にちなみ、毎年開催しています。イベント期間中は「こどもにすすめたい本2018」に掲載された本の展示を行いました。「こどもにすすめたい



▲展示の様子



▲とことこおはなし会の様子

本2018」は県内の公立図書館等の職員が、昨年出版された本の中から「幼児」「小学校低学年」「小学校中学年」「小学校高学年」「中学生・高校生」の対象ごとにおすすめの本を選び、一つの冊子にまとめたものです。児童カウンターの前で行った展示には、多くの方が足を止め、本を手にとったり貸出用図書の中から気に入った本を探したりしていました。

また、土曜日・日曜日・祝日に行っている「とことこおはなし会」を、期間中は「とことこおはなし会 こどもにすすめたい本バージョン」として実施しました。『しんごきピコリ』や『スープになりました』など数冊の読み聞かせやわらべうた、手遊びなどを行いました。『スープになりました』では、たくさんの種類のスープに驚いている子どもたちもいて、いつもと違ったおはなし会を楽しんでくれたようです。

イベント終了後も冊子は児童コーナーで配布しており、当館のHPからもご覧いただけます。ご家庭や保育園等での読み聞かせや、学校図書館で本を選ぶ際の参考にさせていただきたいと思います。

■「こどもにすすめたい本2018」

https://www.lib.pref.yamanashi.jp/hakkou/h_kodomo/2018.html



第1回子どもの読書オープンカレッジを開催しました。



▲造形遊びを体験している様子

平成30年5月24日(木)に、「絵本から広がる楽しい遊び」と題して、身延山大学仏教学科福祉学専攻長の伊東久実氏を講師に迎え、講座を実施しました。図書館司書や小中学校の学校司書、ボランティアなど、子どもの読書に関心を持つ53名の方の参加がありました。

講師は幼稚園教諭を経て、長年保育者養成に携わってきました。今回の講座では、子どもと大人をつなぐ媒体としての絵本の役割について、絵本から広がる遊びを通して考えました。日本の保育所や、イギリスの公立図書館での読み聞かせ会の実践例から、絵本から広がる遊びが、子どもたちの絵本に対する興味を喚起することをお話いただきました。また、絵本を楽しむための土台づくりにもなるわらべうたを、伝承の形と、幅広い年齢でも楽しめるように変化した形で、実際に歌って体験しました。さらに、絵本『わたしのワンピース』から広がる遊びとして、ピーマンやオクラなど野菜の切り口に絵具をつけ、ワンピース型の画用紙にスタンプをする造形遊びも体験しました。

参加者からは、「ちょっとした工夫で、子どもたちを楽しませるアイデアが広がるのがわかった。」「読み聞かせ会などで、取り入れてみたい。」などの感想が寄せられました。

定例おはなし会を開催しています。

毎日午後2時30分から、1階のよむよむスペースでおはなし会を実施しています。

平日の火曜日から金曜日は0歳から2歳向けのよちよちおはなし会、土・日曜日と祝日は3歳から小学生向けのとことこおはなし会です。

絵本の読み聞かせと、わらべうたや手遊び歌を組み合わせた15分から20分ほどのプログラムを、子ども読書推進担当の職員が交代で行っています。

事前申込みは不要ですので、ぜひ気軽にご参加ください。午後のひとときを、お子さんと一緒に楽しく過ごしませんか。

